

事務事業名		0727) 地域づくり推進事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業		
政策体系	政策名	0727) 相互に理解し、尊重し合う地域社会の実現			事業期間		予算科目 会計 款 項 目 事業		
	施策名	32) 共に生きる地域づくりの推進							
	基本事業名	0727) 自主的な地域活動の促進							
所 属	根拠法令	なし			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 7 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度  全体計画欄の総投入量を記入		01 02 01 05 06		
	部課名	三陸支所綾里地域振興出張所							
	係 名	電話	42-2121						
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 綾里地区の振興等を目的に活動している各種団体 (綾里地区綾姫の里づくり推進委員会、綾里地区夏まつり実行委員会、綾里地区老人クラブ等) の事務局。主な業務内容は、次のとおり 各種団体の金銭管理等の経理 (預金通帳管理など) 会議、総会の開催 (案内通知の発送、資料の作成、進行など) 各種団体の活動援助 (補助金の申請・請求事務など) 各種団体との連絡調整 (小・中学校、公民館、各地域、市老人クラブ連合会、婦人会、同窓生など)					全体計画 (期間限定複数年度のみ)				
総投入量 (千円)					事業費 財源内訳	国庫支出金			
						都道府県支出金			
						地方債			
						その他			
						一般財源			
						事業費計 (A) 0			
人件費					正規職員従事人数				
					延べ業務時間				
					人件費計 (B) 0				
					トータルコスト(A) + (B) 0				

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動) 前年度実績 (前年度に行った主な活動) ・綾里地区綾姫の里づくり推進事業の実施 ・綾里地区夏まつりの開催 今年度計画 (今年度に計画している主な活動) ・綾里地区綾姫の里づくり推進委員会及び綾里地区夏まつり実行委員会をそれぞれ発展的に解散し、個々の事業を根本的に精査の上、新団体を設立して新しい体制で事業を実施する。		名称 単位 ア 実施回数 回 イ ウ	
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・市民 ・地区活動団体		対象指標 (対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 参加者 人 キ 活動した人 人 ク	
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 地域づくりのため活動している各種団体に協力することで、市民主体の地域づくりをしてもらう。		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 主体的に地域づくりに参加した人 人 シ ス	
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 自主的に地域の人たちが地域づくり活動を実践することにより、地域の活性化が図られる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (目標)	22年度 (目標)
投入量	事業内訳	単位						
		千 円						
投入量	国庫支出金	千 円						
	都道府県支出金	千 円						
	地方債	千 円						
	その他	千 円						
	一般財源	千 円	100	100	100	100	100	100
	事業費計 (A)	千 円	100	100	100	100	100	100
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時 間	400	400	400	400	400	400
	人件費計 (B)	千 円	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
	トータルコスト(A) + (B)	千 円	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700
活動指標	ア	回	2	2	2	2	2	2
	イ							
	ウ							
対象指標	カ	人	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	キ	人	50	50	50	50	50	50
	ク							
成果指標	サ	人	30	30	30	30	30	30
	シ							
	ス							

事務事業ID	0727	事務事業名	0727) 地域づくり推進事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 伝統の綾里地区夏まつりを地区をあげて盛り上げる。また、地域の良さを再発見することで、綾里地区の活性化を図るため平成7年度頃から開始。			
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 綾里では、支所の名称に「地域振興」を明記して、地域の事務局の役割も担ってきたが、地域づくりを自主的に取り組もうとする人が、開始時期と比べて少なくなっている。顔ぶれも変わっていない。 本来は、地区の住民の方が主体的に行うべきことも多いが、人手が少なく、市の職員が協力してきた。			
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 継続して実施していかなければならない。 一部の市民からは、「ここまで市の職員が手をかけてもらって、申し訳ない」という声がある。 監査委員からは、「市職員が手をかけすぎているのではないか」という指摘があった。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 地域の活性化と連携を図ることは、地域社会の構築の上で必要不可欠なことである。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 地域づくりの事務局を市の職員が担当していることはあまり好ましくないが、現時点では、市民が担当することは困難な状況である。
	対象・意図の妥当性	☒ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 適切である [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 市民が自主的に地域づくりを展開することにより、意図を拡大することができる。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 市民に自主的な地域づくりの必要性を認識させることが必要。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 現時点では、事務局を離れることは、組織体制が不十分なことから影響有と思われる。速やかに体制の整備を図る必要がある。 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 公民館事業との統合 ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない [理由] 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ ☐ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費の内訳は、施設を利用している際の電気料、電話代等であり、事業費を削減することは活動減にもつながる。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 地域づくりの事務局を市の職員に代わるものがいれば可能。住民にお願いができれば、職員の時間外人件費の削減が可能である。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 特に不公平さはないが、地域づくり団体は、自主財源に乏しいことから一般地区民からの寄附を受けている。

事務事業ID	0727	事務事業名	0727)地域づくり推進事業
--------	------	-------	----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 市の職員が、事務局として企画、予算づくり、市への補助申請、会計、事業実施を支援している。本来は、これらをできるだけ住民の方に担っていただくべきである。									
目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☒ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 19年度以降の進め方について各団体と協議し検討する。他の地区の進め方も参考する。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 																							

(職 名) 原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者																							
(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☒ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 おおむね適切に事務執行がなされている。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 少子高齢化や地域の連帯感の希薄化等が課題となっている今日、地域づくりも行政の重要な仕事のひとつである。しかし、主体はあくまで地域であって、行政は側面から援助しながら協働で事業を進めることが望ましい。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
--